

## 令和6年度外部評価会 集計表(農業者)

所属名: 曽於畠地かんがい農業推進センター 農業普及課

課題名② 曽於地域における畠かん営農の確立						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
		適当	概ね適当	要改善		
課題の設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	3			・畠かんの水利用の増加が必要。	・曽於地域には畠かん整備事業の終了及び継続地区があるが、継続して畠かんを活用した営農推進を実施していく必要がある。
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	3				
活動体制・活動方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	3			・畜産農家の水利用向上を具体的にどのようにしていくのか。	・畜産農家の飼料作物栽培では、給水栓による作業機の破損事故が多いので、事故防止対策等を含めて、畜産農家が畠かん水活用ができる対策を検討していく。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	3			・動力巻取機などの活用が、労力削減につながっており、良い取組である。	・今後も受益者が畠かん活用しやすい手法等、実証展示を通じて検討していく。
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3				
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	2	1			
活動の波及性と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	3				
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	3				

## 令和6年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 曽於畠地かんがい農業推進センター 農業普及課

課題名② 曽於地域における畠かん営農の確立						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
		適当	概ね適当	要改善		
課題の設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	4	1			
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	3	2		・園芸農家は畠かんを利用しやすいが、畜産農家は利用しにくい。 ・肉用牛用の飼料作が不足しているため、水を利用した早急な対策が必要。	・畜産農家の畠かん水活用が進まない理由の一つに、給水栓に作業機が接触し破損事故が発生することがあげられる。事故防止に向けて目印等の設置など農家が取り組みやすい対策を検討していく。
活動体制・活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	4	1		・志布志市では、畠かんの利用は茶の防霜対策が多いが、荒地の場所もある。水が不足し茶の新植ができないところは、他作物を検討できないか。	・乾燥に強い作物はさつまいも等があるが、地域の営農類型も踏まえて検討する必要がある。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	4	1			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	4	1			
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	3	2		・畠かん利用の有無による収量比較の結果があれば教えて欲しい。	・曽於地区の重点品目については、今まで水利用による增收効果の試験データなど整理されているので、必要に応じて提示していく。
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	3	2			
活動の波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	3	2		・地域によって利用面積が少ないので利用効果の周知が足りないのではないか。 ・園芸・花き等には必ず必要な事業であり、利用を拡大して欲しい。	・見せる展示等の設置や講習会等で畠かん活用について啓発しているところではあるが、今後も継続して進めていく。 ・整備事業終了地区においては、散水器具の導入が自己負担になり、難しいところではあるが土地改良区の貸出器具等を活用して、利用拡大を進めたい。
	⑨結果が十分でないものは今後の対策を考えられているか	2	3			

# 曾於地域における 畑かん営農の確立



## 1 課題を取り上げた背景①

### (1) 曽於地域の畠かん 約9,000ha

令和5年度末現在

畠かん地区名 (旧町名)	事業完了年度	受益面積	開栓率
曾於東部 (末吉, 松山, 志布志)	H24年度	約3,000ha	約28%
曾於南部 (有明, 大崎, 輝北)	R4年度	約4,000ha	約31%
曾於北部 (大隅, 末吉, 財部)	R9年度 (見込)	約2,000ha	約8%
大隅南 (大隅)	R7年度 (見込)	約200ha	約89%

※開栓率 = 畠かん水利用面積 ÷ 畠かん散水可能面積

## 1 課題を取り上げた背景

### 2 取組体制

### 3 課題の内容と成果

#### (1) 畠かん営農推進体制の整備及び強化

#### (2) 畠かん利用の理解促進

#### (3) 各品目(作目)ごとの畠かん利用の促進

### 4 成果のまとめ

### 5 今後の課題と取組

### 6 最後に

## 1 課題を取り上げた背景②

### (2) 畠かんは農家所得の向上に寄与

栽培面積等の推移 (平成27年から通水)

	栽培面積 (ha)			単収 (t/10a)		
	H26年	R4年	対比 %	H26年	R4年	対比 %
甘藷	9	21	233	2.8	3.2	114
大根	12	22	183	7.0	11.0	157
ごぼう	2	10	500	0.8	1.2	150
計	23	53	230			
経営面積	18	36	200			
土地利用率	128%	147%				

図1 曽於北部のA法人の推移  
(曾於北部の畠かん優良経営体事例調査より)

## 1 課題を取り上げた背景③

### (3)水利用の効果(增收効果)と多目的利用の理解促進

過去のデータから、各品目で2~3割增收

品質向上や生理障害を回避した事例もある

理解促進が重要

## 1 課題を取り上げた背景④

### (4)給水栓の開栓率が低い

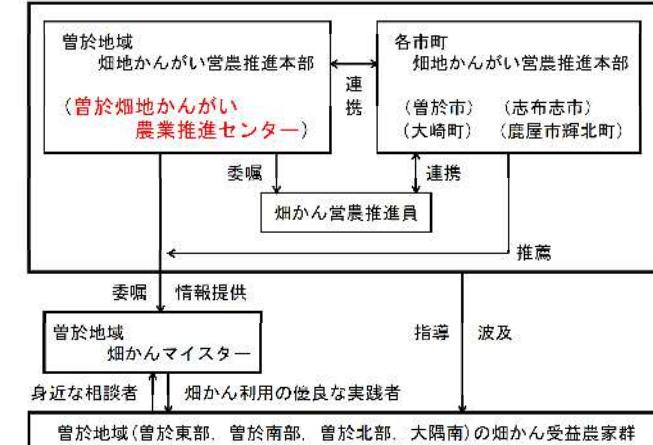
- ① 畑かん営農の定着と事業効果の早期実現のためには、開栓率の向上が必要
- ② 開栓率が低いため、土地改良区の運営にも影響

※維持管理費(10a当たり年間水利用料金)  
普通畠:3,600円、ハウス:6,000円、茶:12,000円

開栓率の向上が、  
曾於地域の最重要課題。

## 2 取組体制

### 曾於地域の畠地かんがい営農推進の体制図



## 3 活動内容及び成果 (1) - ①

### (1)畠かん営農推進体制の整備及び強化

#### ア 畠かん営農推進本部の活動強化支援

令和元年に

◎曾於地域畠地かんがい営農ビジョン策定  
(曾於市, 志布志市, 大崎町, 鹿屋市輝北町)

・目標年度:令和10年

・重点品目

野菜:14品目, 花き:3品目, 工芸作物(茶)  
いも類:2品目, 果樹:1品目, 飼料作物

中間年度にあたり、重点品目について検討

### 3 活動内容及び成果（1）-②

#### ○重点品目での聞き取り調査の実施

畑かん受益地における作付は、飼料作物が最も多い。

畜産農家に、畑かん利用に関する聞き取り調査を実施。

#### 畜産農家への畑地かんがい水利用に関するアンケート

畠地かんがい水利用に関するアンケート  
市町名（ ）氏名（ ） R.6年7月

畠地かんがい水利用では、水を活用した畜産や干ばつ時でも安定して農作物を栽培できる環境づくりを目指して、畠地かんがい施設や散水器具の整備がされつつあります。畜産農家の答  
案が活用されている競争場への整備や活用状況・困っていること・要望等についてお聞か  
せください。該当するものに○を付け、□がある場合はご記入ください。

問1 現在使っている飼料畠に、畠かんの給水栓が設置されて  
いる畠場ありますか？  
1 有る 2 無い 3 今後設置予定の畠がある  
（2）  
問2 上の問1で、「有る」（3）の方は、下記の説明にお答えください。  
（1）給水栓(井戸や給水口)に飼料作機械等が接触して破損する  
ありますか？  
1 有る 2 無い 3 接触しそうになり、ヒヤリ  
（2）給水栓への接触事故の内容についてお聞かせください。（複  
数回答可）  
1 喷射機や作業機械等が接触し、割り刃やモール、アッ  
タッカ等が接触し、給水栓の給水口部分まで破損した  
2 畠地かんがい施設が接触し、給水栓の給水口部分まで破損した  
3 畠地かんがい施設が接触し、給水栓の給水口部分まで破損した  
4 給水栓や上の接触事故などで、人がケガをしたことがあ  
5 その他（ ）  
（3）競争場をしている給水栓がありますか？（※ 分岐している設  
置）  
1 有る 2 無い 3 必要になったら開通したい畠がある  
（4）

7割の畜産農家で「給水栓に飼料作機械等が接触して破損した」という声  
があった。

受益者が利用しやすい畠地かん整備に向けて生かしていきたい。

### 3 活動内容及び成果（1）-③

#### ア 畑かん営農推進本部の活動強化支援

##### ○曾於地域畠地かんがい営農技術マニュアルの検討 作成時期

平成23年3月および  
平成24年2月（追補）

#### 畠かん事業で導入の進む

・噴射ホースおよび動力巻取機について  
追補で加える予定

#### 曾於地域畠地かんがい営農技術マニュアル

##### 曾於地域畠地かんがい 営農技術マニュアル



平成23年3月

曾於畠地かんがい農業推進センター

##### 曾於地域畠地かんがい 営農技術マニュアル (追補)



平成24年2月

曾於畠地かんがい農業推進センター

平成23年3月作成 平成24年2月（追補）

### 3 活動内容及び成果（1）-④

#### ア 畑かん営農推進本部の活動強化支援

畑かん器具研修会  
(技術員向け)



### 3 活動内容及び成果（1）-⑤

#### イ 畑かんマイスターの育成及び活動強化支援

(1)曾於地域が、県内(九州)で、初めて、「畑かんマイスター」を設置。

(2)畑かん利用の実践者であり、農家の身近な相談者。

R6年度の畑かんマイスター32名

曾於東部 10名

曾於南部 12名

曾於北部 9名

大隅南 3名

曾於市 17名

志布志市 8名

大崎町 5名

輝北町 2名

### 3 活動内容及び成果（1）-⑥

#### 畑かんマイスターの主な活動

(1)畑かんを利用した優良経営の実践

(2)周辺農家の畑かんに係わる相談者

(3)実証ほ・展示ほ(見せる展示ほを含む)の設置

(4)実演会・研修会等の協力

(5)事例調査・事例発表等の協力

### 3 活動内容及び成果（2）-①

#### (2)畑かん利用の理解促進

##### ア モデル地区の畑かん営農推進

モデル地区の選定(2地区)

①曾於北部(令和9年度事業終了予定)

②大隅南地区(令和7年度事業終了予定)

畑かん事業実施地区を選定

### 3 活動内容及び成果（2）- ②

#### ○曾於北部

国営・県営事業で、約2,000haの畠かんを整備

給水栓設置(45%)および開栓率(8%)の向上が課題

#### 曾於北部畠かんPT会

曾於市(耕地林務課、農政課)  
曾於北部土地改良区、土改連曾於支部  
畠かん営農センター(水利事業課、農業普及課)  
・畠かん事業(給水栓設置率向上等)および畠かん営農に関して検討

### 3 活動内容及び成果（2）- ③

#### ○大隅南地区

県営事業で、約200haの畠かんを整備

令和4年4月、大隅南土地改良区設立

畠かんマイスター等の提案で、受益地内の白菜とキャベツを作付けるほ場は、全て開栓。  
(作付調査による維持管理費(賦課金)の設定)

178haが開栓(開栓率89%)

事業最終年に向けて散水器具等の導入事業を実施中

### 3 活動内容及び成果（2）- ④

#### ア モデル地区の畠かん営農推進



畠かん器具実演会(農家向け)



### 3 活動内容及び成果（2）- ⑤

#### ア モデル地区の畠かん営農推進

R5年度から噴射ホースの動力巻取機の改良について検討  
R6年から改良型で事業導入



ホースガイド等の改良

動力巻取機使用で手動では負担の大きい噴射ホースの撤去作業が容易にできる



### 3 活動内容及び成果（2）-⑥

#### ○見せる展示ほの設置

畑かんマイスターを中心に42か所設置  
重点地区に17か所設置



曾於東部	14か所	曾於市	28か所
曾於南部	11か所	志布志市	5か所
曾於北部	10か所	大崎町	6か所
大隅南	7か所	輝北町	3か所

← この旗(のぼり)が目印

#### 見せる展示ほ設置状況

令和6年度 見せる展示ほ設置状況

令和2年1月23日 現在

No	月日	設置市町 宮農推進本部	部門	農家名	マイスター	地区名	設置は場所	備考	位置情報
1	8月6日	曾於市	飼料作物 (実証)			北部	大崎町 坂元	散水ホース(スミレイイン40HD)	
2	8月5日	曾於市	飼料作物 (実証)			東部	末吉町 南之郷	散水ホース(スミレイイン40HD)、一基ロールカーボン	
3	7月30日	曾於市	ごぼう	○		大隅南	大崎町 大隅南	散水ホース(スミレイイン40HD)	
4	8月16日	曾於市	ごぼう			大隅南	大崎町 大隅南	散水ホース(スミレイイン40HD) ※台風10号被害一耕耘	

QRコード

- ・見せる展示ほ設置場所を整理し、関係機関と共有
- ・本年度は、ネット上で確認できるよう設置ほ場位置のQRコードを添付

### 3 活動内容及び成果（3）-①

#### (3)各品目(作目)ごとの畑かん利用の促進

##### ア 実証・展示ほの設置

###### ①液肥混入器の実証

飼料作物

###### ②畑かん水を利用した還元消毒

さつまいも苗床、施設花き

###### ③基礎水等の活用実証

露地野菜 (新ごぼう、たまねぎ、キャベツ、はくさい)

###### ④防霜対策の支援

茶

#### 実証ほ実績 新ごぼうにおけるかん水の効果

播種日: 令和5年8月28日

噴射ホース設置: 令和5年8月30日



30~40cm付近に岐根発生が多かった

1月10日収量調査

単収 kg/10a

・実証区: 1.8t(140%)  
・慣行区: 1.3t



### 3 活動内容及び成果（3）-②

#### イ 栽培暦の水利用項目の必須記載の推進

##### 畑かん水活用記載品目

新ごぼう（R5～）

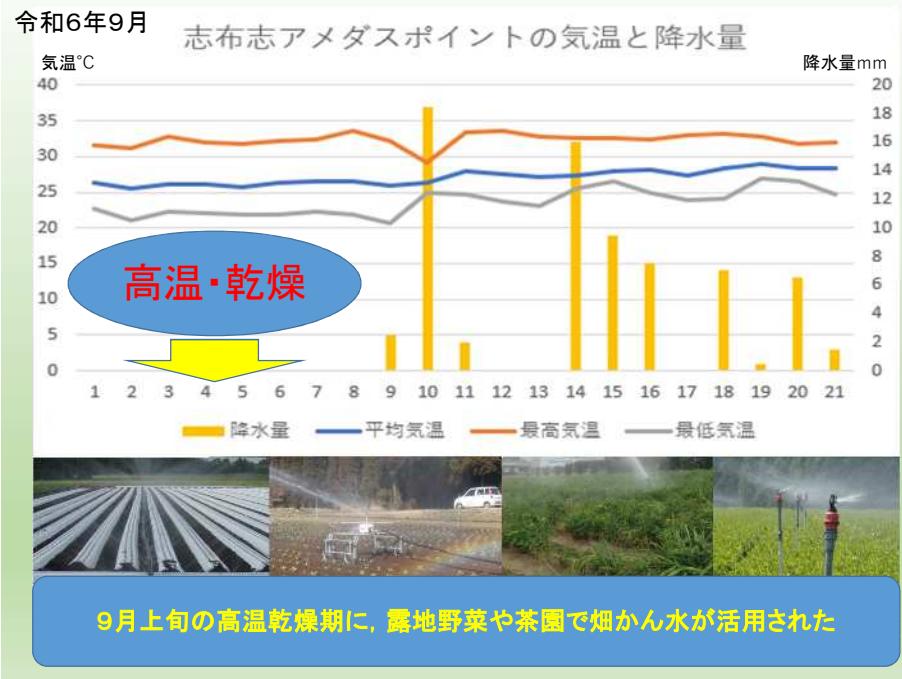
はくさい（R6～）

抑制かぼちゃ（R6～）

##### アメダスデータを基に降水量状況の整理

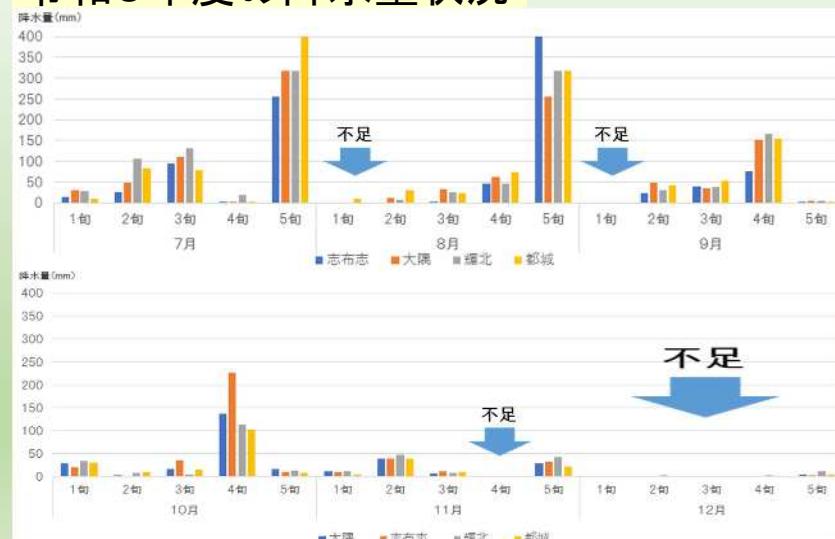
###### R6年度の降水状況

降水量が少なかった時期  
8月上旬, 9月上旬, 12月



### 3 活動内容及び成果（3）-②

#### 令和6年度の降水量状況



### 4 成果のまとめ ①

1 実演会や見せる展示ほの設置等により、畑かん営農の理解促進を図った。

2 各品目ごとで畑かんの水利用に関する実証・展示ほを設置し、利用促進を図った。

## 4 成果のまとめ ②

3 露地野菜農家では、播種や定植時での畑かん水が活用されている。

茶園でも、防霜対策以外で高温乾燥時期に畑かん散水が活用された。

4 畜産農家での給水栓設置の課題を整理し、関係機関と検討した。

## 5 今後の課題と取組

1 給水栓設置・開栓率の向上

(1) 畑かん利用の理解促進

(2) 実証ほ・展示ほの設置 等

2 畑かんの推進のための推進体制の充実・強化

3 曽於地域畠地かんがい営農ビジョンの実現

## 6 最後に

1 畑かんは、農家に必要不可欠。

2 引き続き、関係機関・団体と一体となって、畑かん営農の推進に取り組む。



ご清聴ありがとうございました

